

約8千人が参加

第38回九都県市合同防災訓練

8月27日、鶴ヶ島市と埼玉県共催による第38回九都県市合同防災訓練を行いました。深谷断層帯・綾瀬川断層を震源とするマグニチュード8.0（鶴ヶ島市内最大震度6強）の地震が発生し、県中部を中心に甚大な被害が発生したことを想定した大規模な訓練が、約8000人の市民や関係者などの参加のもと、市内各所で展開されました。

問合せ 安心安全推進課防災担当



住民による初期救出訓練



救援物資受援訓練(鶴ヶ島清風高等学校)

地域連携で災害に強いまちを(住民系訓練)

今回の訓練では、中央会場である市役所のほか、地域との連携をテーマに、市内11の地域会場で、自治会、自主防災組織、地域支え合い協議会などを主体とした訓練が行われました。



給水活動訓練



帰宅困難者対応訓練(若葉駅)



夜間宿泊訓練(鶴ヶ島第二小学校)



上田知事講評



藤縄市長講評

関係機関連携で結束強化を(機関係訓練)
 鶴ヶ島市、埼玉県、消防、警察、自衛隊などの行政機関、各種事業者などにより、高速道路などの地理的特性を生かした実践的訓練や、障害者、高齢者など災害時要配慮者に配慮した訓練などが行われました。



倒壊建物救出救助訓練(消防・警察)



高層階建物救出救助訓練



シェイクアウト訓練



火災防ぎょ訓練(鶴ヶ島市消防団・坂戸市消防団)



多重衝突事故救出救助訓練